

全苗連だより

Vol. 77 (11月号)

令和2年11月25日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和2年度(第59回)農林水産祭式典において 福島県苗組の(有)上原樹苗(代表 上原和直氏)に天皇杯の 表彰が行われました

令和2年度(第59回)農林水産祭式典が、新嘗祭の日の11月23日、明治神宮会館において、天皇杯等三賞受賞者、農林水産大臣賞受賞者並びに農林水産大臣、各界代表者等を含めた多数の参加のもとに開催されました。

表彰者につきましては、去る10月6日に農林水産祭中央審査委員会(会



(写真) 天皇杯を授与された上原夫妻

(写真) 受賞者を代表して収穫感謝の言葉を述べる上原和直氏
長 東京大学名誉教授 難波 成任氏) が開催され、令和2年度(第59回)農林水産祭の天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者が決定されました。

大森茂男会長のもと、岸紘治前会長時代の平成29年度(第56回)の林田喜昭氏(宮崎県苗組)並びに令和元年度(第58回)の谷口洋一郎・希子夫妻(北海道苗組)の天皇杯受賞に続く快挙となりました

なお、天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞は、過去1年間(令和元年7月～令和2年6月)の農林水産祭参加表彰行事(全国山林苗畑品評会を含め農林水産業の273件)において、農林水産大臣賞を受賞した465点の中から決定された

ものです。各賞は、農産・蚕糸、園芸、畜産、林産、水産、多角化経営、むらづくりの7部門に授与されました。また、女性の活躍が著しい2点に対して、内閣総理大臣賞と日本農林漁業振興会会長賞が授与されました。



全苗連要望書（「令和3年度林業政策並びに予算に関する要望」）を本郷浩二林野庁長官に提出しました

令和2年度第3回全苗連理事会（議事（全苗連要望書について））が10月23日に書面により開催され、全苗連要望書（「令和3年度林業政策並びに予算に関する要望」）（下記）が全員異議なしとして可決されました。

全苗連要望書は11月11日に大森茂男会長から直接、本郷浩二林野庁長官に手交の上要望活動を行ったところです。また、浅川京子次長、前島明成林政部長、小坂善太郎森林整備部長、織田央国有林野部長、長崎屋圭太整備課長、宇野聡夫業務課長並びに諏訪造林間伐対策室長、寺本造林資材班担当課長補佐をはじめとします林野庁幹部にも手交する等して全国の苗木生産者の思いを伝えて参りました。

記

令和3年度 林業政策並びに予算に関する要望

(全国山林種苗協同組合連合会)

国内の森林は、戦後や高度経済成長期に植栽されたスギやヒノキなどの人工林が大きく育ち、木材として利用可能な時期を迎えている。利用可能な森林が増える中、国内の森林資源は、「伐って(きって)、使って、植える」という森林を循環的に利用していく新たな時代に入った。

しかしながら、コロナウイルス感染症に係わる経済危機は、この森林の循環利用のサイクルに異変をもたらしつつある。今年に入ってから、既に木材需要の減少傾向が見え始めているが、このことは、主伐後の再生林の減少に繋がり、ひいては苗木の需要量の減少に繋がるのではないかと危惧しているところである。

さらに、近年の度重なる集中豪雨の発生等は、天候不順による苗木の生育、得苗への悪影響だけではなく、過去にない洪水、山腹崩壊、林道等の決壊をもたらし、再生林の実施に大きな支障を及ぼしているところである。

再生林に係る不安定要素は苗木に係る需要量見通しに不安感を与えている一方で、①普通苗(裸苗)からコンテナ苗への切り替え、②エリートツリー(特定母樹)由来や花粉症対策苗木の供給、③カラマツの増産、④コウヨウザンやセンダンなどの早生樹の供給など苗木に対する要請はますます大きくなりつつある。

このような状況下で、我々、全苗連の苗木生産者は、これまでの経験・実績・技術に基づき、品質の保証された優れた苗木の安定供給に大きな使命を担っているところであり、行政機関による苗木需給量の見通しの提供、苗木の予約生産・販売体制の構築、苗木生産施設の整備や苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立、調和のとれた苗木生産者組織の育成強化について国のさらなる支援を求めるとともに、後継者育成に務め、かつ、育苗技術等の向上を目指していく所存である。

全苗連の苗木生産者は、次の事項の実現について強く要望する。

- ― 主伐の増加に対応する確実な再生林に必要な森林整備予算及び苗木生産予算の拡充
- ― エリートツリー等の成長に優れた苗木による再生林を促進する仕組みの創設
- ― 苗木需給量の見通しの提供並びに苗木の予約生産・販売流通体制の構築
- ― 苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立
- ― コンテナ苗生産に適した品種や優良品種の開発並びに生産技術の開発推進
- ― 調和のとれた苗木生産者組織の育成強化
- ― 後継者育成の支援

令和2年11月11日

全国山林種苗協同組合連合会

新型コロナウイルス感染症への対応について

・「今般の感染拡大に対応したクラスター対策のさらなる強化等について」、「会食の際の工夫」、「事業継続に関する基本的なガイドライン」等の情報は、全苗連HPにUPしてあります

「林業経営体における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」、「経営継続補助金」などの補助制度、「今般の感染拡大に対応したクラスター対策のさらなる強化等について」、「会食の際の工夫」、「イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置」などの新型コロナウイルス感染症対策本部からの連絡事項等につきましては、情報がより次第速やかに全苗連 HPのインフォメーション並びに会員向けページにUPしていますので、そちらをご確認願います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により種苗の生産等に支障が出る等があった場合は、速やかに全苗連までご連絡をお願いします。

全苗連・苗組の行事予定

5月1日～R3.3.31 令和2年度研修(苗木生産技術の向上等事業)【全苗連HP“研修予定表”参照】

12月21日 四国地区林業用種苗需給調整協議会(徳島県)

令和3年

2月12or15日(調整中)

関東地区林業用種苗需給連絡協議会(山梨県)

9月2日～3日

第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)